単結晶X線構造解析　測定依頼書　兼　共同研究申込書（学内用）

下記試料の分析を岡山大学自然生命科学研究支援センター分析計測分野へ依頼し、その分析料金は支払責任者が負担します。

申込日　　　年　　月　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **測定依頼者** |  | **e-mail** |  |
| **支払責任者** |  | **内線** |  | **運営費・科研費（4月～12月）** |
| **以下の二つから一つを選んで、記入してください**\*1 | 上限金額\*2 | 円 |
| ○ | 依頼測定 | 2,200円/時間(税込)　4～12月は科研費等での支払いが可能　 |
| ○ | 共同研究 | 1,100円/時間(税込)　4～12月は科研費等での支払いが可能　共著者扱い |
| **試料名** | 半角英数20字程度 | **予想分子式** |  |
| **解析難航の場合\*3** | □標準解析終了時点で一旦終了　　□予算内で可能なところまで続行 |
| 結晶化溶媒 |  | 易溶性溶媒 |  | 難溶性溶媒 |  |
| 再解析依頼の場合 | 前回測定時の　測定日：　　　　　　受付No.： |
| データ様式 | □解析結果データのみ　□測定生データ＋解析結果データ（要DVD保存） |
| 引渡方法 | □メール添付（測定生データは容量の問題でメール添付できません）　□DVD保存（110円） |
| 予想構造、特記事項 | ・測定後試料はすぐに返却します。・**「分析計測分野利用要項」**の内容は　　□**確認済み**である。・測定に用いた結晶の回収を希望される場合は、あらかじめお伝えください。・測定条件を指定される場合は任意様式にて添付してください。 |

ここまでは申込者がご記入ください。**太字部**は必ずご記入ください。

以下、分析計測分野記入欄

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 解析終了日 |  | データ引渡日 |  |
| 測定装置 |  | 測定者 |  |
| 解析結果 | A・B ・C | R1(%) |  |
| A：on-line checkCIF（http://checkcif.iucr.org/）でAlert-A、Alert-Bが残らないB：おおよその構造は見えるが、上記Alertが残るC：構造が全く見えない |
| 請求料金 | 測定・解析料金　　　　円／時間 | 測定・解析時間 | 時間 |
| 追加消耗品等　　　　　円(税込) | 装置使用時間 | 時間 |
| 合計：　　　　　　　 円(税込) |
| 測定温度 | ℃ | 結晶サイズ |  | マウント方法 |  |
| 結晶形状 |  | 結晶の色 |  | 再解析 | 要・不要 |
| Shelx テキスト編集　　有・無 | Disorder　　　　　　　有・無 | Twin　　　　　　有・無 | squeeze　　　　　　　有・無 |
| 連絡事項 |

※測定中断の場合は着手料5,500円が必要です\*4

\*1：測定依頼扱いか、共同研究扱いかを選択してください。記入のない場合はA通常依頼測定として扱います。

　通常依頼測定　　合成確認など測定解析結果のみで十分な場合

　共同研究・定額　論文投稿時に実験項や構造解析に関するコメント等が必要な場合

　　　　　　　　　論文公表時には依頼者を共著者として含めてくださるようお願いいたします

\*2：試料1点当たりの支払い可能上限額を記入してください。未記入の場合は50,000円として扱います。

\*3：「標準解析終了時点で一旦終了」を選択した場合、2時間程度の標準的な解析を行い、容易に解析が収束しないと判断される場合には、その時点で解析を終了します。「予算内で可能なところまで」を選択した場合には、予算の範囲内でそのまま解析を継続します。（一般的に標準的な解析を行っても十分な解析結果が得られない場合、そのまま解析を継続して結果が劇的に改善されることは稀です。解析を継続するよりも、結晶を再度作成して測定からやり直した方が、結果的に早く良好な結果が得られる場合もあります。）

\*4：測定を中断した場合でも、その時点までの料金は請求させていただきます。作業が短時間（2時間以下）であった場合も、5,500円を請求させていただきます。

測定・解析時間算出ルール

**【結晶選定開始から、解析終了までの実所要時間が8時間未満の場合】**

測定開始から、解析終了までの実所要時間を「測定・解析時間」とします。

**計算例１**（測定、解析ともに順調な場合）

10:00～11:00　結晶選定　（装置使用1 h、測定者拘束1 h）

11:00～14:00　測定　（装置使用3 h、測定者拘束×）

14:00～16:00　解析　（装置使用×、測定者拘束2 h）

↓

測定・解析時間＝6時間

**【結晶選定開始から、解析終了までの実所要時間が8時間以上の場合】**

装置使用時間：A、測定者拘束時間（測定、解析共通）：B

↓

AとBのうち、長い方を「測定・解析時間」とします。

**計算例２**（長時間測定が必要な場合）

15:00～16:00　結晶選定　（装置使用1 h、測定者拘束1 h）

16:00～翌9:00　測定　（装置使用17 h、測定者拘束×）

9:00～11:00　解析　（装置使用×、測定者拘束2 h）

↓

測定・解析時間＝18時間

**計算例３**（解析が難航した場合）

10:00～11:00　結晶選定　（装置使用1 h、測定者拘束1 h）

11:00～14:00　測定　（装置使用3 h、測定者拘束×）

14:00～20:00、翌9:00～12:00　解析　（装置使用×、測定者拘束9 h）

↓

測定・解析時間＝10時間